

いぬのひげ, ほそかうがいぜきしよう, ほたるゐ, いぬのはなひげ, はるりんどう等ガアリ, 水邊ニたちもガ生エテ居ル。

六月ニコノ池ヲ訪レルト池中ニ白色ト黄色ノ花ガ點々ト咲イテ居ル。白花ハひつじくさデアルガ花ハ徑一寸許ノ小形ノモノデひめひつじくさヲ思ハセル。黄花ハかはほねラシイガ葉ガ見當ラナイ。ヨク見ルトひつじくさノ葉ニ交ツテ同ジク水ニ浮イタソレラシイ葉ガアリ, コレハひめかはほねデアルト分ツタ。コノ池及ビソノ附近ダケハ是非大切ニ保護シタイモノデアル。

名古屋附近ハ丁度關東系ト關西系ノ植物ガ入交ル場所デアリ, 又寒地性ト暖地性植物ノ混淆シテ居ル所デモアルノデ面白イ。

### ○安徽ノ *Daphne* ニツイテ (前川文夫)

*Daphne* sect. *Daphnanthes* MEISSNER in DC, Prodr. 14 : 532 (1857), KEISLER in ENGLER Bot. Jahrb. 25 : 32 (1898)ニハ葉ハ肉厚ノ常綠デ, 花序ハ莖頂ニ出ルぢんちやうげ型ノモノガ集ツテ居ル。安徽省ニハコノ型ノモノハ3種類アツタ。

1 ッハぢんちやうげ (*Daphne odora* THUNB.) デ人家ヤ寺院ニ植エテ居ルガ日本ノ様ニ普及シテハ居ナイ様デアル。ソレ程個體ヲ多く見ナカツタ。

2 ッハ *D. odora* var. *atrocaulis* REHD. トイハレルモノデアル。貴池縣家峯ノ淺山中ノ溪畔で見タトキニハ1月下旬デアツタガ蕾モ太クナリ, 早イモノハ僅カニ綻ビテ淡黃白色ヲ呈シ芳香ガアツタ。葉ハ長橢圓狀倒披針形デ銳尖シ, 花蓋ハ外面ニ偃毛ヲ生ジ, 花序ノ軸ノ下部ヲナス短カイ部分ニハ薄イ毛ガアルガ一年以上經テハ脱落スル(ぢんちやうげデハ三年經ツテモ猶ホ毛ガ充分ニ殘ツテ居テ花梗ノ殘リガ吸盤鱗ニ多數突起シタノト一緒ニナリ, 光澤無毛ノ尋常枝ノ部分ガ2—3岐シタ中央ニ前年枝ノ莖頂ニ明瞭ニ存在スルノガ著シイ)。花冠ハ細ク裂片ハ三角狀長卵形デぢんちやうげノ如ク筒ヨリ濶ク擴ガルコトナクソノ長サハ筒ノ $\frac{1}{2}$ 内外デ淡黃白色, 枝ハ黑褐色デ分枝ハ稍疎デアル。コノ特徴ハ花色ノ點ヲ除ケバ本邦産ノこせうのきニモ當テハマル, REHDERハ莖ノ色ト苞片ノ脱落スルコトドデこせうのきト區別シタガ, コレハ恐ラクこせうのきノ本體ヲ知ラナカツタタメデ何等區別トハナラナイ。花色ハこせうのきデハ始メハ白色デアルガ暫クスルト黃色味ヲ帯ビルコトハきんぎんぼくヤくちなしニ等シイガ, 中國本部デハコノ點デハジメカラ僅カナガラモ着色ガアツテ全然同ジデハナイノデこせうのきノ地理的變種ト考ヘル。臺灣ノ山地ニハたいわんぢんちやうげ (*D. taiwaniana* MASAMUNE) ガアルガ原著者ノ擧ゲラレタぢんちやうげトノ區別ハこせうのきトぢんちやうげトノ區別ニ概當スルシ, 標本デモ確カニ同ジデアリ, 既ニ金平, 初島兩博士ハ上記ノ var. *atrocaulis*ニ同定サレタ。著者モコレニ賛成デアリ更ニ一步進メテこせうのきノ變種ニ同定シ種トシテソノ分布ガ本州東海道(安房清澄山)以西, 四國, 九州ノ低地淺山カラ濟州島, 安徽, 湖北, 湖南, 四川, 南方デハ臺灣中部及北部ニ及ブツツ分布型(コレヲ私ハ周東海要素(peritunghai element)ト呼ビタイ)ヲ示スモノト考ヘ

ル。學名ニツイテハ KESSLER 是從ヘバ *D. sinensis* LAMARCK が最も古イコトニナルガ LAMARCK ハ *D. odora* ヲ包含メテソノ群ニコノ名ヲ與ヘタカラ所謂 *superfluous name* デ使用出来ナイ。次ニ *D. triflora* LOUREIRO ハ MERRILL ハ Fl. Cochinchin. ノ解説書中デぢんちやうげニ間違ナシト云ツテ居ル。外人ノ云フ *D. odora* ヲ中國産トイフノハ恐ラク *D. kiusiana* ヲ混ズル危険性ガアルガ今ハ確メル手段ガナイノデコノママ信用シテ、ソノ次ノ *D. kiusiana* MIQUEL ヲ採リソノ下デ變種名ヲ設ケテ、臺灣及中國本部ノモノヲ一括スル。

*Daphne kiusiana* MIQUEL var. *atrocaulis* (REHD.) F. MAEKAWA comb. nov. et stat. nov. — “*D. sinensis* Lamarck” Keissler in ENGL. Jahrb. 25 : 91 (1898) [excl. *D. odora* var. *ruora* SWEET] — *D. odora* var. *atrocaulis* REHD. in SARG. Pl. Wils. 2 : 545 (1916). HANDEL-MAZZ. Symbol. Sinic. 7 : 588 (1933) — KANEHIRA et HATUSIMA in Trans. Nat. Hist. Soc. Formos. 29 : 157 (1939) — *D. odora* var. *taiwaniana* MASAMUNE in Trans. N. H. S. Formos. 28 : 140 (1938) (syn. nov.) — *D. taiwaniana* MASAM. Ic 29 : 239 (1939). **タイワンデントンチャウゲ** Hab. China. prov. Anhwei, Kweichi, Cha-lin (F. MAEKAWA, IIM 400).

餘談デアルガからすしきみ (*D. Miyabeana* MAKINO) モ似テ居ルガ、牧野先生ハ花ノ小形、萼(花蓋)ノ無毛、花盤ノ缺如ヲ區別點ニアゲラレタ。ソノ他花序ニ長イ柄ガアルコト、本年枝ハ尋常葉ヲツケタ先ニ花序ヲ頂生シ、ソノ上部ノ葉腋ニ更ニ尋常枝ヲ出ダシテ數葉ヲツケル點モヨイ特徴デアル。

3 ッハ葉ハ長橢圓狀倒披針形デ先端ハ鈍ク尖リ莖ノ色ハ汚灰色デアル。花ニハ毛ガナイ。シカシ極ク若い蕾シカ見ラレナカツタノデ種名ハ決シ兼ネタガコレニ似タ種類ハ見當ラナイ。青陽縣ノ青山ノ中腹ニアツタ (No. IIM114)。

sect. *Genkwa* BENTHAM et HOOKER, Gen. pl. 3 : 190 (1880) ハ葉ハ落葉性。花冠ハ薄イ群デアルガ、コレニハ芫花(ふぢもどき *D. Genkwa* S. et Z.) ガアル。長崎デノ採品デ記載サレタカラ日本植物ノ様デアルガ中國本部ガ本家ノモノデ、原野ノ雜木デアツテ、殊ニ臺場ナドニ多イ。春先ノ紅紫花ハ美シク如何ニモ春ガ來タトイフ温カサヲ覺エサセル。花冠ニハ大小濃淡種々ノ變化ガアル。果實ハ漿質デ白色半透明ノ橢圓體、糯米ヲフカシタ様ナ感ジガスル。一般ニ頭痛花(To-ton-fwa) トイフガ、ソノ語源ハトウトウ判ラズシマヒニナツタ。本種ハ朝鮮南部ニハ分布シテ居ル。Addisonia 19 : 37 t. 627 (1936) ニハ着色圖ガ載ツテ居テ、ヨイ園藝植物トシテ扱ハレテ居ル。(昭和19年5月記ス)。

### ○きぬがささうノ果實ヲ試食シテ (小形利吉)

昭和19年8月16日、山形縣最上郡金山町ヲ經テ、秋田、宮城、山形ノ三縣境ニ跨ル神堂山(海拔1366m)ニ登ツタ時、行ヲ共ニシタ地元ノ鑛夫達ガぐりみきガアルト